

今週のビルマのニュース 2009年11月6日【0941号】

日メコン首脳会議が始まる 明日は日緬首脳会談

・日本とメコン地域5か国による初の首脳会議（日メコン首脳会議）が6、7日に東京で開かれる。ビルマ軍政からはテインセイン首相が出席。7日には鳩山首相との首脳会談が行われる（3日産経ほか）。

18団体がメコン地域への援助政策見直しを求める

・日メコン首脳会議に先立ち、18の日本の市民団体が4日、メコン河流域国に対する援助政策の見直しを求める共同要請書を鳩山首相と関係大臣に提出した。過去のODA事業の問題点を検証し、インフラ開発よりも環境・社会保全政策や法制度整備への支援を優先させることなどを求める内容。ビルマに関しては、難民や国内避難民に対して安定した人道支援を行うことや、人権保護や民主化の促進に関わる事業を積極的に支援すること、そしてビルマ沖の天然ガス開発事業に権益を持つ日本企業への出資を引き上げることが日本政府に求めている。

中国への石油・ガスパイプラインが着工

・中国石油天然ガス集団（CNPC）は、ビルマから中国雲南省に通じる石油・天然ガスパイプライン建設（全長771キロ）に着工したと発表した。現在中国が輸入する原油の8割がマラッカ海峡経由で運ばれているが、パイプラインが完成すれば同海峡を通らず陸路で輸送できるようになる（4日AFPほか）。

米政府高官が14年ぶりにビルマを訪問

・キャンベル米国務次官補は3～4日、米政府高官としては14年ぶりにビルマを訪問した。首都ネピドーで軍政のテインセイン首相と会談し、ヤンゴンで民主化指導者アウンサンスーチー氏や国民民主連盟（NLD）幹部、少数民族団体代表らと会談した。軍政との直接対話開始などを打ち出した米国の新しいビルマ政策を説明するのが主な目的。同行したマーシエル副次官補は5日、「スーチー氏や国民民主連盟（NLD）が参加しない総選挙を正当とみなすのは非常に困難となるだろう」と述べた。また現時点での制裁解除は賢明でないと考えていることも明らかにした（5日フィナンシャル・タイムズほか）。

国連の核廃絶決議、ビルマは棄権していた

・国連総会第1委員会では日本が提出し、29日に過去最多の賛成を得て採択された核兵器廃絶決議案について、ビルマは棄権していたことがわかった。北朝

鮮とインドが反対、ビルマや中国、イラン、パキスタンなど計8か国が棄権（30日共同）。

ビルマへの政府開発援助（ODA）約束状況など

今週の発表はなし

注目記事

「ミャンマー軍政『開発』で弾圧 少数民族居住地にダム」（東京新聞4日朝刊「こちら特報部」）

イベント情報

・在日ビルマ人民化活動家のみなさん テインセイン首相来日にあたってービルマ軍政に対しスーチーさんを含むすべての政治囚の釈放と対話の促進を要請するアピール行動（ホテルニューオータニ、6日・7日9～11時）

・第1回移民映画祭 マレーシアのビルマ難民が受けた人権侵害の証言記録『HOME』上映、リム・デズリ監督と根本敬上智大教授との対談（上智大学10号館講堂、8日上映12時10分、対談13時）

・公開セミナー「フェアな未来を考える：フェアトレードとタイ国境で暮らすビルマの子どもたち」ビルマ国内の状況に関するドキュメンタリー映像の上映及びビルマ情報ネットワーク秋元由紀による解説あり（一橋大学佐野書院、8日13時半～）

・山本宗補&野田雅「ビルマ（ミャンマー）・チベット」写真展とスライド&トーク（国立市公民館1階ロビー、17日～22日9～21時。但し初日11時から、最終日は19時終了。山本宗補と野田雅也によるスライド&トークは21日13時半～）

・第58回ビルマ市民フォーラム例会 詳細は後日（池袋・ECOとしま8階、28日18時～）

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース（平日毎日更新）
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165